

まえがき

多様な世界を共に生きる

本書は初めてドイツ語を学ぶ人を対象とした初級ドイツ語の教科書です。コンパクトに、かつテンポよく学習できるよう、日本人学習者が最初に学ぶべき項目を、ドイツ語の使用実態に即して選定しました。主に大学や高校の授業で使用されることを想定し、授業時間数に対応した12課で構成してあります。本書の全体的なコンセプトは次のようにまとめることができます。

- 端折らない——ドイツ語の初級文法を一通り網羅する。
- 詰めすぎない——初学者の多様な関心とレベルに対応する。
- 誤魔化さない——本格的なドイツ語学習への確かな基礎を築く。
- 理解する——ポイントとなる項目は必ず練習で繰り返す。

新しい外国語を勉強することのおもしろさ——そして難しさ——は、自分の慣れ親しんだ世界とは違ったものに出会うということでしょう。本書では、各課に設けたコラムを通して、異質なものを理解するヒント（のようなもの）を示しました。異文化を考えるにあたって、異なるものをより広い文脈の中で理解しようとするのが本書の基本的な立場です。学習を終えたとき、もっと遠くが見える人間として自分が立ち現れる——そのような願いを込めて本書を作成しました。

最後になりましたが、本書の作成にあたっては、企画の段階から朝日出版社の藤野昭雄さんの助言をいただきました。またドイツ語の校閲では Diana Beier-Taguchi さん、Wolfgang Höcht さんにご協力いただきました（Höcht さんには写真にも登場してもらいました。13頁左下）。この場を借りてお礼申し上げます。Danke!

著者

（なお本書では、各課「トピック・ドイツ」に関連した映像を、《朝日・映像で見るドイツ》より選出し、DVDにて教授者の皆さまにご提供いたします。）